

広報 **ながはま** 10月号



運動会の練習をする長浜保育所の子どもたち

スポーツを通じて

心と体を鍛えよう

現代の子供は これほどよいのか

子育ての心構えの確立

一部の子供の問題か

すべての子供がだめだと言っているのではない。数の上では心配ないと考えている人も多いだろう。いや平均的にみても体力が向上していると意見を述べる人さえいる。

文部省体育局から発表されている全国的な体力テストのうち、垂直跳びのように十年前の子供たちより最近の方がすぐれているというのである。確かに運動能力テストや体力診断テストの総合点をみても、どの年齢層も向上したとできる数値が示されている。

それにもかかわらず体格は良くなったが、しかし、体力はそれに伴っていないという声は消えないのである。

それどころか、ますます高まっていく傾向さえある。その具体的な現象として、ちよつとしたことで大骨折をおこしたり、朝礼でバタバタ倒れたり、転んだ時に手が出ず顔を地面にぶつつけたり、ちよつと仕事が長びくとくたびれるなどの指適が続くのである。

確かに二回やらせて良い方の成績をとったり、長くて数分どまりの能力しか得られないテストでは、半日の持続的体力どころか、三分の行動力の大小さえ知り得ない。



注意と工夫で防げる疾病

子供たちの日常生活を詳細に観察すればするほど背すじの寒くなる思いがする。もちろん、その結果の責任は子供たち自身にあるのではなく、親を中心とした大人たちにある。

よく世間では、最近の親たちは子育ての自信を失っていると言っているが、初めから自分で育てようとする意欲がなく、子供を生んだことの社会に対する責任どころか、我が子に対する責任感がなくなってきたのではなからうか。

なにも子供の身体の手立てに責任をもてといっているのではない。親の注意ではどうにもならない病

気もある。

しかし、現実はずつとした注意と工夫をすれば防げる疾病がある。少なくとも、食事に対する配慮と日常生活での起居動作に適切な処置がなされたら、今の子供の大部分は、はるかに健康的な身心になるのではなからうか。

偏食ぐらい子供の身体にとつて悪いことはないというのが今も昔もかわらない大原則であるのに、頭の中ではとにかく、結果的には全くでたらめな食事をさせているのではないかと思われる。

ほしがらないものを食べさせても栄養にならないなどと、理屈をならべられるが、子供の身体はそれによつてどれだけ害されているか考えたことがあるのだろうか。ましてやうちの子は肥満傾向があるから食べさせないのだという。

十分食べさせ十分に身体を動かす遊びをさせることが何より大切であるということをお忘れはならない。

健康食品に惑わされるな

牛乳や卵は良い食べ物だ、米飯は良くない食べ物だという人がいる。健康食品だというコマーシャルベースにのせられた食物を与えさせれば、たちどころに無病息災になるものではない。子供は決して大人を小型にしたものではないというのが小児科学の常識なのに、それさえ忘れがちな指導者もいる。

成人肥満と小児肥満とは一緒にあるという考えから、子供はやせているほうが健康であると錯覚を

おこさせてしまう。ある調査によると、大骨折をおこした小中学生十八人の身長、体重関係をみたら肥満児はゼロ、やせすぎは十二人もいたという事実を再認識してほしい。

カルシウムが多く含まれている食物は骨を丈夫にするという。

ならば、赤ちゃんからカルシウムが多く含まれている牛乳を飲ませており、骨が丈夫になるのであれば小学校へ入学する時期の子供たちはもうそろそろ骨が強くなつても不思議ではないはずであるが、皆さんどう思われるか。

偏食は身体組織をこわす

かたよつた食事は、身体組織を破壊するものであり、目的のためには手段を選ばず、なんでもやせさせればよいのだと考えている人は少なくないようである。このような考え方は、生命を落す危険性もあることを忘れてはならない。子供がいやがる食物は食べさせない。しかしついても無理やり食べさせる親は少なくなってきた

いるのではなからうか。ほしがらる食物だけを与えて、満足しているとなれば、子供の身体を破壊しているのに等しいのである。栄養のパラ

ンスを考え、料理方法を工夫して子供に食べさせる努力をしてほしい。

成長発達段階にある子供の場合、骨格を丈夫にし、骨格筋を丈夫にしておかないと健康どころかちよつとした骨格筋の傷

害をおこしたり、転んで怪我をしたりするのである。

最近、戸外で遊び野山をかけたまわりの子供が少なくなってきた。「受験戦争」「教育ママ」と言う言葉を聞くにつれ、青い顔をした子供を見ると、将来の健康に大いなる不安を感じるのである。

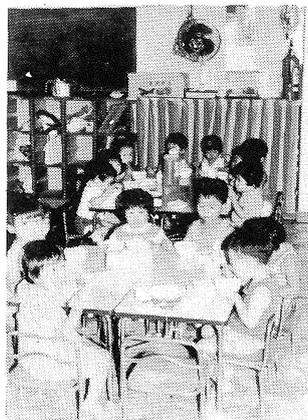
スポーツ教室任せは危険

幼若なものほど特定のスポーツを行うことは、せき椎分離のような障害の発生率が高いことに注意しなければならない。

すべての身体部位を万遍なく使うことが大切である。ルールのない子供達自身の遊びが重要である。自分の子供をスポーツ教室に通わせておけば無事育つものと思われているのではなからうか。

たとえばできる限りはわけて遊ぶ時期に歩行器を使わせ、外にでて遊ぶようになると危いといって家の中に閉じこめる。子供がどのようにする意欲に負けると、他人まかせではおかしな何んの不思議でもない。

子供を育てるといことは大変であるが、もう一度子育ての心構えを確立してほしいものである。



非常時に備えて 小型動力ポンプ積載車 白滝分団第1部へ

積載量は一・七五トの性能を備えています。火事、災害時には大い

長浜町消防団
白滝分団第一部
に小型動力ポン
プ積載車が八月
二十日から配備
されています。
非常時にスピ
ードアップを
図るため町が百五
十万円で購入し
たもの。新しく
購入したポンプ
積載車は、ニッ
サンジユニア、
ガソリンエンジ
ンで総排気量は
二〇〇〇CC、



に活躍してほしいものです。

会費は七千円

公民館結婚規則一部改正

秋は結婚シーズン。お知らせが

遅れましたが、七月一日から長浜町公民館結婚式および披露宴に関する規則が一部改正されたのようになっていきます。

〔使用時間〕 開設時間は午前十時から午後七時までとし、使用時間は一組につき原則として三時間とする。

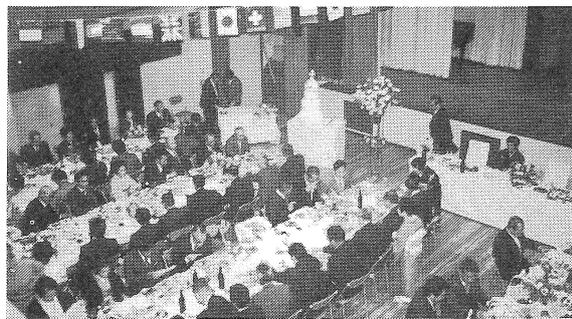
〔結婚式〕 式は結婚改善推進委員と公民館職員で進行する。

〔披露宴〕 披露宴は一人七千円以内の会費制とする。内訳は、標準として料理三千円、酒千円、記念品千五百円、引出物千五百円。

〔会場使用料〕 会場使用料は七千円（テーブル掛使用料を含む）

〔人数制限〕 式は三十人以上。披露宴は大ホール百人以内とする。

〔その他〕 ①許可時間を厳守す



ること。②火気に注意すること。③その他公民館の指示に従うこと。

町民登壇

私は現在に至っても、楽しかった小学時代の夢をよ

く見ます。学校は家から山を二つ越えた山の中腹にあり、その道程は長く厳しくもありましたが、年中海、山、川を問わず、新しい何かを発見するが如く駆けまわったものでした。今にして思えば、幼いなりにロマンを自然の中に求めていたのかも知れません。それに比べ町の子は、交通網が密になるに従い、彼らの遊び場は猫の額のように狭くなり、体を思う存分動かしたくとも一歩外に出れば自動車ははん濫し、それを阻止されています。長高の校庭を遊び場と間違えた子供達が無心で遊んでいるときに、職務上とはい

心の郷里を大切に



登尾 治美 (23歳) 今坊・事務員

空を見上げます。青空がどこまでも高く澄んでいる時「万歳」と叫び、両手を上げ背筋を伸ばす時の幸福感。生きていることの素晴らしさを身に感じ、自然に感謝します。祖母、父母は土を愛し耕すことよって生活の

え追い帰すのは心苦しいものです。子供達は遊び場を探すだけでたいへんなエネルギーを費やしているようにも見受けられます。彼らがのびのびと安心して遊べる公園が不足しているように思えてなりません。朝になると窓を開け、天気うかがうべく

糧を与えられ、私達も生きてこられました。私は彼らの働く姿を見てきたがゆえに、時に厳しい自然と正面切って対話する強さを持つていないことを認めています。虫の良話ですが、しかし私は長浜の自然が大好きです。海は迷える私を諭し、山は軟弱だった足を強く、空は限りない希望を与えてくれるからです。私達は富や便利さを求めるがゆえに必要以上に自然を破壊してはいないでしょうか。明日の長浜町を背負う子供達の健全な成長を助長するべく、私達の心の郷里をいつまでも大切に守ってゆくことが町民の使命ではないでしょうか。



法をまもる心が築くよい社会

法の日週間 10月1日～7日

十月一日は「法の日」です。この「法の日」は、国民全部が法を尊重し、秩序のある社会を築くために設けられたものです。私達は、一人ひとりが日常生活を平穏に営むためのよりどころである「法」を尊重し、お互いの人権を守るよう心がけたいものです。しかし、お互いの周囲をみても、残念ながら「法」が十分に尊重されていない状態です。たとえば、子供や老人に対する虐待や、法の手続きによらないで借家人を追い出そうとしたり、強迫的な手段で貸金を取り立てる事件、他人の人権をかえりみない事件が数多く発生しています。

これらの問題は、お互いに憲法その他の法を尊重し、守らなければならぬという考えが十分に徹底していないために発生していると思われま

私達は、一人ひとりが法に親しみ、法を尊重し、お互いの権利を守ることによって、明るい社会をつくるよう心がけたいものです。皆さんの中で人権を侵されたり、侵されそうになった方は、お近くの人権擁護委員にご相談ください。相談は無料で秘密は固く守ります。長浜町の人権擁護委員は次の方々です。

- 熊野熊雄さん(長浜)▽平田三盛さん(出海)▽土居孝童さん(柴)

長浜町の財政

財政状況の公表

長浜町の財政事情の作成および公表に関する条例により昭和54年度の財政を公表します。

昭和55年 9月

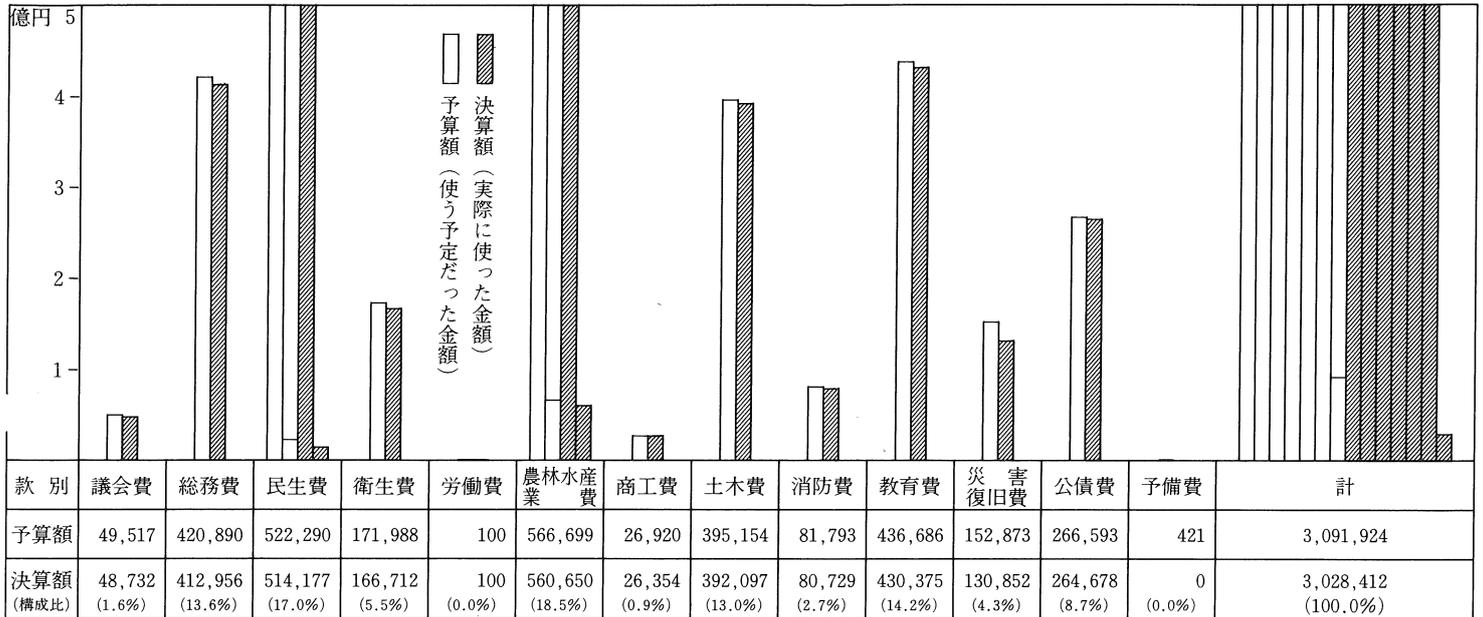
長浜町長 二宮重憲



会計

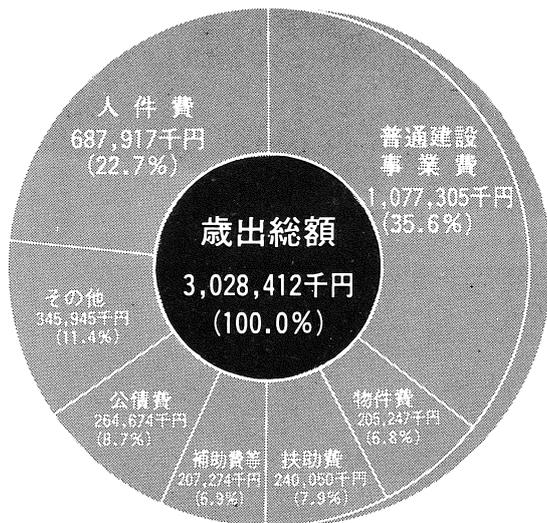
歳出 (使ったお金)

(単位：千円)



71,700千円

性質別決算状況



町有財産 (54.3.31 現在)



宅地	200,633㎡	山林	20,482㎡
建物	58,032㎡	雑種地	4,352㎡
公園	2,209㎡	その他	7,850㎡

水道事業会計

区分	科目	金額 (円)
収益	営業収益	55,414,709
	営業外収益	55,503
	計	55,470,212
支出	営業費用	45,957,417
	営業外費用	7,511,972
	計	53,469,389
資本的収支	純利益	2,000,823
	資本的収入	14,843,000
	資本的支出	26,651,105
差引	△11,808,105	

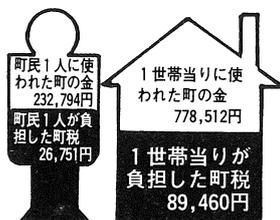
工業用水道会計

区分	科目	金額 (円)
収益	営業収益	9,458,963
	営業外収益	10,667,992
	計	20,126,955
支出	営業費用	12,238,099
	営業外費用	6,133,638
	計	18,371,737
資本的収支	純利益	1,755,218
	資本的収入	—
	資本的支出	7,677,777
差引	△7,677,777	

簡易水道事業



予算	50,717千円
歳入高	50,445千円
歳出高	50,445千円
歳入歳出差	0千円



資本的収入額が資本的支出額に不足する額11,808,105円は、当年度分損益勘定留保資金6,571,389円及び減債積立金5,236,716円で補てんした。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額7,677,777円は、当年度分損益勘定留保資金4,271,157円及び減債積立金3,406,620円で補てんした。

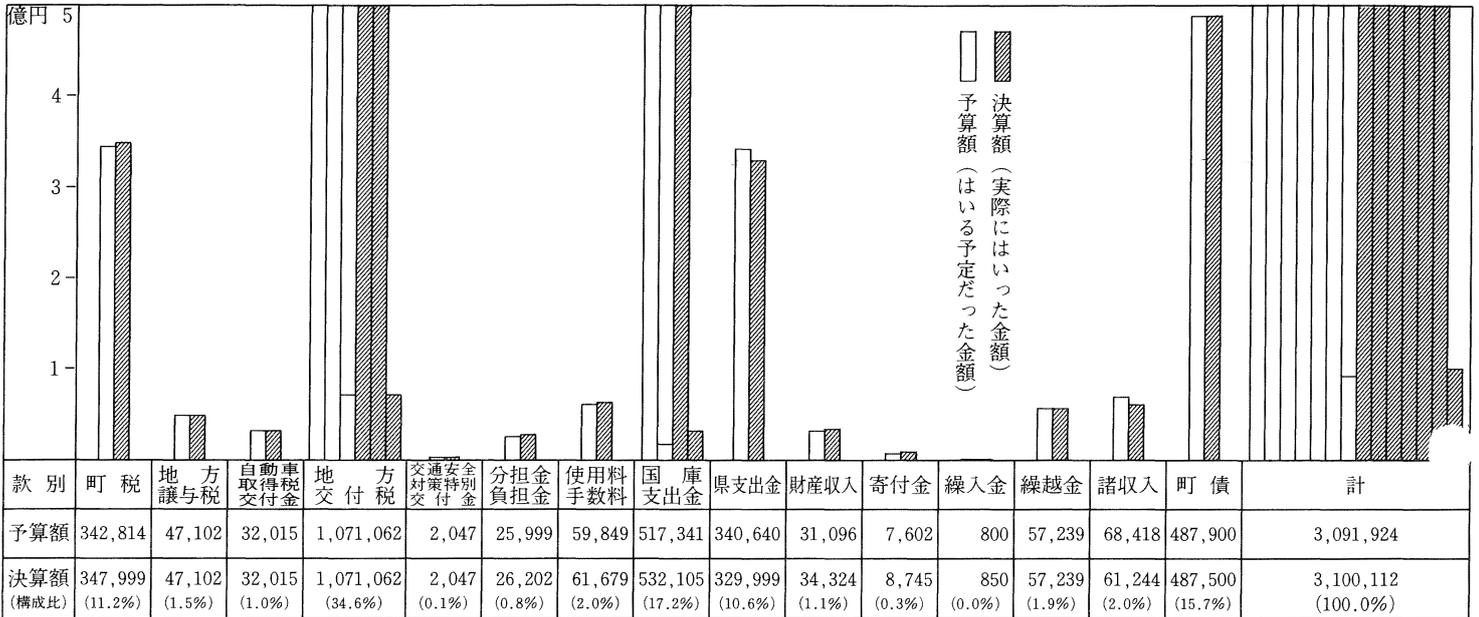
予算額 3,091,924千円
 収入済額 3,100,112千円
 支出済額 3,028,412千円
 差引残高 71,700千円

昭和54年度

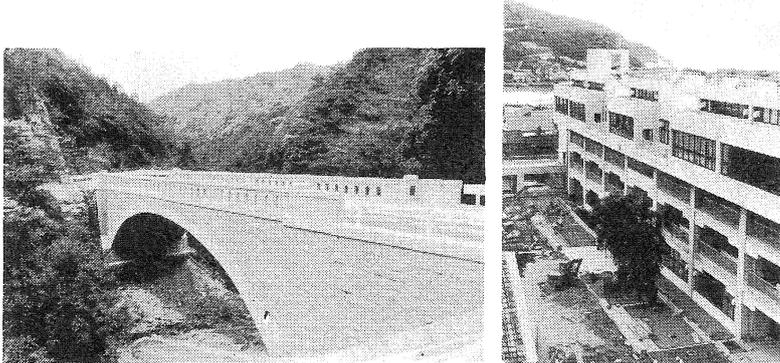
一般

(単位：千円)

歳入 (はいたたお金)



歳入・歳出差引残高

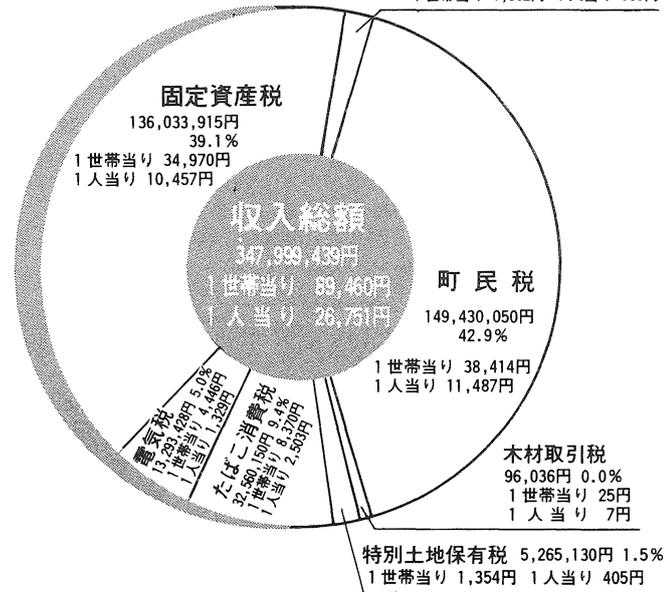


町道豆柳線(日の元橋)改良工事に 2,510万円

長浜小学校建設事業に 2億979万6千円

町税収入状況

軽自動車税 7,320,730円 2.1%
 1世帯当り 1,882円 1人当り 563円



公債費

(55.5.31現在)

区別	件数	現在額(千円)	1世帯当り額(千円)	1人当り額(千円)
一般会計	186	2,407,134	619	185
上水道特別会計	12	103,983	27	8
簡易水道	19	140,037	36	11
工業用水道	8	76,879	20	6
住宅新築資金等	11	80,431	21	6
計	236	2,808,464	723	216

特別会計

国民健康保険



予算 633,028千円
 歳入高 641,253千円
 歳出高 620,298千円
 歳入歳出差引 20,955千円

国民健康保険直営診療所



予算 35,596千円
 歳入高 6,509千円
 歳出高 32,616千円
 歳入歳出差引 △26,107千円

港湾施設



予算 13,992千円
 歳入高 13,918千円
 歳出高 13,918千円
 歳入歳出差引 0千円

住宅新築資金等貸付



予算 28,748千円
 歳入高 28,223千円
 歳出高 27,800千円
 歳入歳出差引 423千円

妊産婦を大切に

母子保健強調月間

若い妊産婦がもつさまざまな不安感、核家族が進み、身近に経験豊富な理解者がいないために、いっそう助長される傾向にあるようです。十月は母子保健強調月間。この機会に、夫が、家族が、そして社会が妊産婦を理解、協力することの大切さを考えてみようではありませんか。

定期検診の効用

妊産婦の死亡数は年々減って五

十二年は四百六人（前年比六十八人減）。十年前の約五分の一という減り方です。

十年前までは、文明国の中でわが国ほど妊産婦の死亡率が高い国は外になかったのですから、この好転ぶりは注目されます。好転した理由の第一は、妊婦の定期検診受診率の向上です。尿のたんぱく検査、血圧測定などの健康チェックで病氣や異常を早く発見し、早く治療して危機を未然に防ぎ止めているからです。

妊娠とわかつたら、早く母子手

帳の交付を受け、健康診断を受けましょう。現在では、定期検診はほとんどの人が受けていますが、受診回数は、三か月からかかるとして妊娠七か月までは月一回、八か月以降は月二回、十か月目に入ったら週一回（うち前期一回、後期一回分は公費負担で無料）合計十三回受けるのが理想です。

保健所や大病院、産院では母親学級を設け、妊娠―出産―育児に関する正しい基礎知識を教え、質問にも答えています。働いている妊婦、とくに初めての妊娠の場合には早流産防止のためにも、妊娠の初期から継続的に、こういう場に積極的に参加しましょう。周囲の人も妊婦が参加しやすいように気を配ってあげてください。

十月は「食生活改善普及運動」が行われる月です。これを機会に「私の食生活」、「わが家の食生活」を見直してみよう。

成人が一日に必要な食品の量については、別にチラシが配られていると思いますので、ご覧になって下さい。そして、その量と自分が毎日食べている量を比べてみて下さい。食品群によっては、

何日も食べていないものや、少なすぎるもの、多すぎるものなどがあるのではないのでしょうか？



とかく多すぎものは穀類、

食生活を

見直そう！

しまうとなんにもなりません。幼い子どもは甘いものが好きですから、孫を喜ばせようと思っておじいちゃん、おばあちゃん甘いお菓子を与えがちになるようです。十分に気をつけて、みんなで子どもの健全な食生活に協力しましょう。

砂糖を主とする菓子類だと思います。特に子どもさんには甘いものを与えないように、みんなで気をつけましょう。若いお母さんたちがいくら気をつけても、他の家族や近所の人たちがうっかり与えて

う。甘いものは子どもの偏食やムシ歯の原因になり、成人にとつては肥満や成人病の原因になることを忘れないで下さい。

そして、日本人に不足しているものは第一にカルシウム源となる牛乳や乳製品、小魚だといわれます。子どもの骨が弱いといわれる要因の中には、甘いものとりすぎと、カルシウム不足による栄養のかたよがりがあります。大人も子どもも、共通して牛乳や乳製品、小魚をたくさんとるようにつとめましょう。

（保健婦・一宮）

へるすあい(ヘルスアイ)とは「健康の目」



愛の結晶は 惜しみなく 鉄を奪う

妊婦の貧血は、妊娠中毒症やその他の病氣にかかりやすく、胎児の発育を悪くしたり、未熟児や障害児出産の原因になることもあります。妊娠したら貧血にならないように十分注意しましょう。

さて、血液の成分である赤血球は酸素の運び役ですが、もし、これがストップしたらどうなるでしょう。たとえば脳は酸欠を起し六秒間でめまいを起し三分間で脳死です。赤血球は、このように生命維持に不可欠ですが、この主成分のヘモグロビンが少ないと、いくら肺から血液に酸素を送り出されても、体内の組織に十分な酸素を届けることができなくなりま

が貧血で鉄分の補給が十分行われていないと、最も大切な出産時に力が出せなくなり、時間が長びいたり、異常出産などで胎児への悪影響が生じやすくなります。鉄分の摂取には十分心をくばりましょ

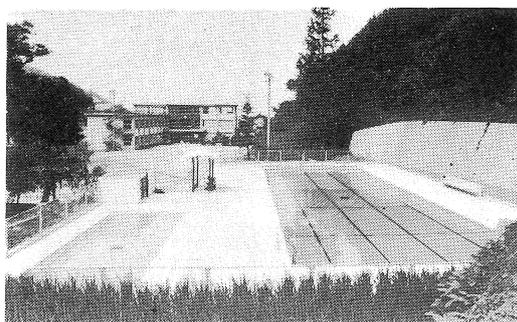
妊娠中毒症は「学説の疾患」といわれるくらい諸説あって、いまだに原因がわかりません。妊娠中毒による死亡数も減ってはいますが、かかる率は依然として高く、ある保健所では軽症、中症おりませて二十人に一人の割合で発見されています。

軽視できない妊娠中毒症

妊娠中毒症は、生活環境を整え、気持ちを安定させて医師の指示に従いましょう。安静が無理なら、いっそ入院を。重症になると生命をおびやかされるだけでなく、胎児にも悪い影響を与え、死産、あるいは虚弱な子が生まれがちです。高血圧系の家系や腎炎、あるいは中毒症などの既往症のある妊婦は、かかりやすいので十分注意しましょう。

ルポ・学校めぐり

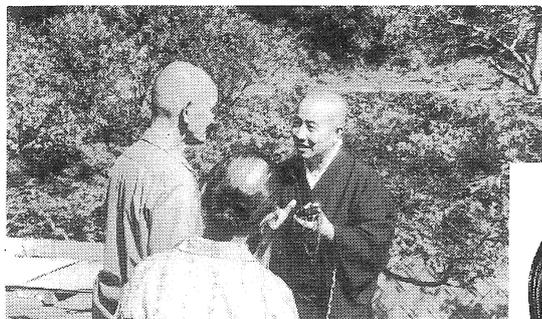
榎生小プールが完成



五月七日に着工した榎生小学校のプールが八月六日に完成。完成したプールは、総事業費三千四百四十万円をかけたもので、規模は他の小学校とほぼ同じ、メイプルが二十五メートルの四コースとサブプール。付属施設としてシャワー室、トイレ、洗面所、更衣室などが完備。

高田好胤管長が再訪

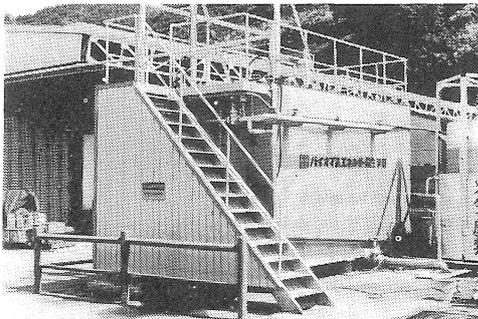
九月二日、薬師寺の高田好胤管長が白滝の久保田芳枝さん宅を訪れた。今年二月の講演で、さされたうどんの味が忘れられず、滝の水を利用した水車で粉をひき、うどんを作っているところに興味をもち、テレビ局の取材を兼ねての再訪となった。九月二十日放映。



廃棄物利用の発生装置

～メタンガスをエネ資源へ～

資源として利用するもの。

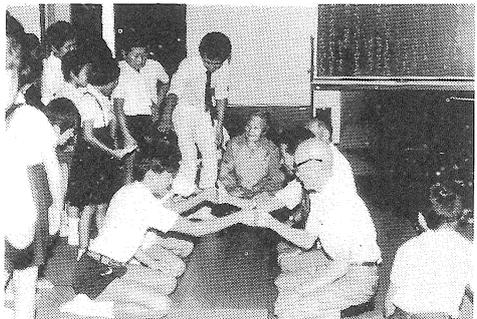


長浜町青果農協は八月二十一日、加工工場で試運転を開始していた「バイオマス・エネルギー発生装置」の点火式を行った。これは、ミカンの皮などの有機性

老人と児童の談話教室

～大和小学校～

めに役立つようにとさとした。



九月五日、大和公民館で地元老人十四人、小学五、六年生三十一人が参加して老人と子供の談話教室を開催。子供たちは指すもう、かたたき

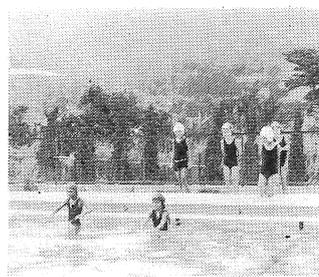
学校めぐり ④

喜多灘小学校

今坊村慈光寺に純粹小学校が設立されたのが明治九年である。その後いくたびか校名を変え、喜多灘小学校として現在地に建てられたのが明治四十二年である。校舎の増築、運動場の拡張を重ね、学制の変遷を経てのち、昭和四十九年、現在の鉄筋新校舎が建てられた。

五十年、喜多灘小学校教育振興会が誕生し、名実ともに今坊地区の教育、文化の殿堂となる。翌五十一年、開校百周年の祝典を挙げ、五十二年にプールが完工し、五十四年には運動場の大拡張工事も始められ、いっそう充実した学校へと変ぼうを遂げつつある今日である。

「元気に」「仲よく」「力いっぱい」「強く正しく」は校歌にうたわれることばである。山を背に眼下に広がる伊予灘の眺望は恵まれた環境であり、心広く豊かな人材を数多くはぐくみ育ててきている。児童は純朴、勤勉、明朗でのびのびとしている。特に高学年、低学年、男女を問わず、遊放時の遊びやソフトボールの練習、掃除、制作活動などに励む児童の姿はほほえましく頼もしい。が、反面、忘れものをしたり、発表



プールで泳ぐ児童たち

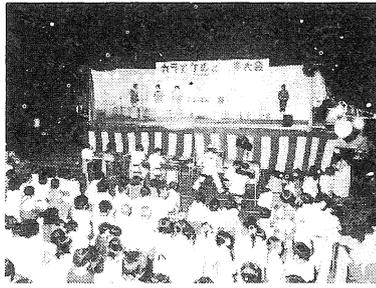
第3回カラオケのど自慢大会

ゲストに福村俊弘さん

八月九日、夜市最後の行事として商店連盟、商工会青年部主催による第三回カラオケのど自慢大会が町民の広場で開催されました。

二十四人が出場し、美声をきき合い、次の五人の方が優秀賞に選ばれました。また、ゲストに福村俊弘さんを迎えて、レコードの即売会も行われ、およそ五百人の方々が夏の涼を求めて繰りだしました。

【優秀賞】豊岡勉 (双海) ▽杉原邦夫 (大洲) ▽菊地寛(長浜) ▽矢野喜運(長浜) ▽柴原治子(長浜)



のど自慢大会 (町民の広場)

第30回 夏季囲碁将棋大会

恒例の夏季囲碁将棋大会が八月十四日、体育館和室において開催

されました。老人や青年あわせておよそ四十人が参加して、A級(二段以上) B級(初段以下)に分かれて行われ、暑さも忘れて静かな熱戦がくり広げられました。

成績は次の通り。
【囲碁の部】 A級①中野高雄(下須戒) ②金平範尾(仁久) ③大野豊(長浜) ▽B級①清水喜久次(柴) ②大元宗一(楡生) ③新友春(長浜)

【将棋の部】 A級①谷本義春(大洲市) ②田口次男(保内町) ③平井武(保内町) ▽B級①高橋利彰(松山市) ②坂本憲一(長浜) ③友石誠二(仁久)

長浜釣り大会

馬場正義さん優勝

八月十七日、第一回長浜釣り大会が長浜海岸一帯で開催されました。

これは長浜の夏の観光行事の一つとして、長浜磯釣りクラブ、長浜サーフ、役場トトクラブの共催によるもので町内外の五十五人の太公望が参加しました。

入賞者は次の通り。
【一般の部】(三匹長寸)：優勝 ▽馬場正義(長浜) ▽準優勝 ▽山下一仁(上老松) ▽三位 ▽中野貴夫(白滝)

【少年・婦人の部】優勝 ▽岡智也(沖浦) ▽準優勝 ▽宮本重則(大越) ▽三位 ▽寺沖弥生(沖浦)

【特別大物の部】優勝 ▽池上昭夫(長浜) ▽準優勝 ▽池上岳夫(長浜) ▽三位 ▽宮田正一(下須戒)



入賞した太公望

氷の彫刻や 造り物で装飾

八月二十四日、恒例の白滝うら盆祭りが行われました。

催し物として、小学生、婦人会、老人クラブ、役場白滝会などによる長浜音頭踊り大会、駅前広場では氷の彫刻やカラオケ大会が開催され、福村俊弘さんもゲスト出演し、多勢の人で夜遅くまでにぎわいました。

また、本通りではそれぞれ工夫した造り物が展示され、夏の涼を求めて繰りだした人々の足を引きとめていました。

カラオケ大会および造り物の部の入賞者は次の通り。

【カラオケ大会】一位 ▽中島保(柴) ▽二位 ▽門田修三(白滝) ▽三位 ▽二宮康俊(菅田) ▽四位 ▽上満徹(白滝) ▽五位 ▽畑内朝子(白滝) ▽熱演賞 ▽石山繁信、西上君子(以上白滝) ▽白滝公民館長賞 ▽矢野満秋(白滝) ▽東芝賞 ▽

西上比呂志、児玉正善(以上白滝)

【造り物】町長賞 ▽玉井勝儀 S L) ▽観光協会長賞 ▽窪時男(手長えび)、上田誠(紫電改) ▽商工会長賞 ▽泉伯(燈籠)、当川一孝土のこ) ▽白滝支部長賞 ▽佐野順一(シャベルカーと汽車、久保田芳臣(オットセイ)、峰勝義(山崎橋) ▽公民館長賞 ▽大成善重(見ざる聞かざると流星) ▽東芝賞 ▽矢野利一(原子力戦艦、二区子供会(月ロケット)



叶本典子ちゃんと井上美紀ちゃん

第17回子供会ソフトボール大会

出海子供会が優勝

八月十日、長浜中学校で第十七回子供会ソフトボール大会が開催されました。

町内十一の子供会チームが参加して、熱戦の結果次の通りの成績となり、久保七郎愛護班連絡協議会長ならびに新山博邦町PTA連合会長から表彰されました。

【優勝】 ▽出海子供会 【準優勝】 ▽喜多灘子供会 【三位】 ▽豊茂子供会、長浜C子供会

第16回町民体育祭 豊茂、今坊、沖浦が優勝

八月十七日、第十六回町民体育祭が長浜小学校、長浜中学校、長浜高校で開催されました。

これは地域住民の基礎体力づくりと、体育スポーツの振興を目的に一般成人、婦人を主体として町民総参加による地域の連帯と融和をはかり、併せて健康で明るい文化的な家庭づくりをめざすもので、種目はバレーボール(ソフトボールは雨のため中止)。

町内各地域で練習を重ねてきた男子バレーボール十四チーム、婦人十チームが参加して熱戦を繰りひろげました。

その結果、男子バレー一部は豊茂、二部で今坊、婦人バレーは沖浦が優勝を飾りました。三位までの結果は次の通り。

【男子バレーボール】一部 ▽①豊茂 ②楡生 ③大和、黒田 ▽二部 ▽①今坊 ②豊茂 ③白滝
【婦人バレーボール】①沖浦 ②豊茂 A ③長浜、大和



決勝戦 沖浦対豊茂の試合



祭太鼓の音が懐しい今日この頃であるが、みのりに感謝するこの古い行事も、経済の変化でその意義はさまざまである▲中でも石油問題は諸種の現象を生じた。物価の上昇、省エネルギー、自動車の規制改造、発電方法の改良、廃物利用、資源活用等々枚挙にいとまはない▲本町農協が開発した蜜柑の皮利用メタンガス発生の将来は高く評価されてよからう。農家の多い本町としても、果樹の問題、冷夏による秋の収穫減量、米価の問題など、需要と供給、自然の摂理に逆らうことは許されない▲一年中で一番の好季節を迎え、紅葉の名所白滝や霊気澄む出石寺をはじめ、ふるさと長浜の良さに接し、連帯の絆を深め、長浜に育つ喜びをかみしめたものである▲記念日の多い中で10月の原子力の日(1956年10月26日)の制定は心を引く。この日は日本が国際原子力機関に加盟した日であり、7年後の1963年の同じ日には、日本原子力研究所が初の原子力発電に成功したのである。エネルギー資源が今日の重要な課題であることを忘れず、日常生活を見直し、国際的視野に立って長浜町の将来に誤りのない、豊かで住みよい文化の町づくりのために寄与したいものである。

人口世帯数

楽しく住みよい町、豊かで働きがいのある町
美しい人情と文化の町をつくり、人口をふやしましょう

	9月1日現在	前月との比較
人口	12,983人 (男 6,196人 女 6,787人)	1人増 (2人減 3人増)
世帯数	3,904世帯	3世帯増



長浜中学校は、県下の中規模校の中で昭和五十五年度の準健康優良学校に選ばれ、九月五日松山の医師会館において県教育委員会から表彰されました。

表彰***

長中が「準健康優良学校」 脊柱側弯症早期発見に成果

成果を上げて、長浜町脊柱側弯症研究協議会が結成され、地域一体となった活動を展開し、児童生徒の健康管理に確実な足跡を残しつつあることがあげられています。

今年度準優良学校に選ばれた要因として、昭和五十二年度以来脊柱側弯症の早期発見にいちじるしい成果を収め、また五十四年度には愛大医学部の協力校として輝かしい

住所 柴茂 中嶋政春 石岡和佐子 (二七)



結婚

8月長浜町役場届出分 (敬称略)

寄付

○長浜町連合婦人会：ガス炊飯器 一台を中央公民館へ。

万葉集の山上憶良(やまのうえのおくら)の歌に「秋の野の花を詠める歌二首」というのがあります。
「秋の野に咲きたる花を指(および)折りかき数ふれば七種(ななくさ)の花」
「萩の花 尾花 くず花 なでしこの花 おみなえし また藤袴 朝貌(あさがお)の花」と対(つい)の歌になっています。
これをごらんになって、あら、ススキやキキョウをどうなっているのかしら。たしかに七草に入っていたのに」と思われる方もおられるでしょう。
実は尾花というのがススキ、朝がおは、あの夏の朝に咲くアサガオでなく、ムクゲ、ヒ

歳時記

秋の七草



ルガオ、またはキキョウではないかといわれていますが、キキョウ説が有力です。
春の七草は、一月七日に、セリ、ナズナなどの七草の草をきざんで入れたかゆを食べ、健康と長寿を祈るしきたりがあります。
一方、秋の方は、そのように七草まとめて使う行事はありません。山上憶良が、秋の七草を春の七草にたとえて歌にしたのが始まりともいわれています。
年々、各地で秋の七草を見るハイキングなどが盛んになりつつありますが、「野の花は取らずに撮ろう」という心掛けで、自然を大切にしたいものです。

お誕生おめでとう!!

8月届出分(敬称略)

住所	保護者氏名	続柄	児名
柳生	山本 廣明	長男	満広
長浜	鶴崎 幸次	二男	智大
須沢	澤田 隆春	長女	愛美
沖浦	川上 義美	長男	洋平
長浜	小西 一男	二男	和則
仁久	本谷 正博	長男	淳司
今坊	川本 博文	長女	江美
豊茂	横道 剛一	三女	牧子
長浜	清家 宗一	長女	真紀

おくやみ

8月届出分(敬称略)

住所	氏名	死亡時年齢
下須戒	畦 光義	(三〇)
長浜	清水 ムメ	(八六)
長浜	竹内時治郎	(八二)
沖浦	小西イセコ	(七六)
柳生	山本 満広	(七〇)
豊茂	菊地 フデ	(九八)
豊茂	石河ユキエ	(八四)
出海	西村 重正	(八〇)
白滝	渡邊富三郎	(八六)
白滝	津田 重雄	(七〇)
白滝	岡上ハツヨ	(九一)

編集後記

雨の多かった夏も終り、実りの秋を迎えました。
さわやかな秋風とともに、仕事にスポーツにスカッと過ごしたいものです。

ところで、松山でおきた小学生の自殺は兄弟げんかを親にしかられたのが引き金となったとみられる子育てのむずかしさを痛感させられます。今月は「子育ての心構えの確立」ということを取り上げてみました。
抵抗力のない現代の子供たち、今一度子育てについて考えてみたいものです。